

■コメント

1. 手足口病

定点当たり3.67人と、2週続けて増加しています。
手足口病は、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水疱性の発しんができるウイルス性の疾患で、幼児を中心に主に夏に流行がみられます。
広島市では、数年おきに比較的大きな流行になる傾向があり、今年もさらに増加する可能性があることから、今後の動向に注意が必要です。

2. 咽頭結膜熱

定点当たり 2.08人と、やや減少しましたが、例年より多い状態が続いていますので、引き続き注意が必要です。

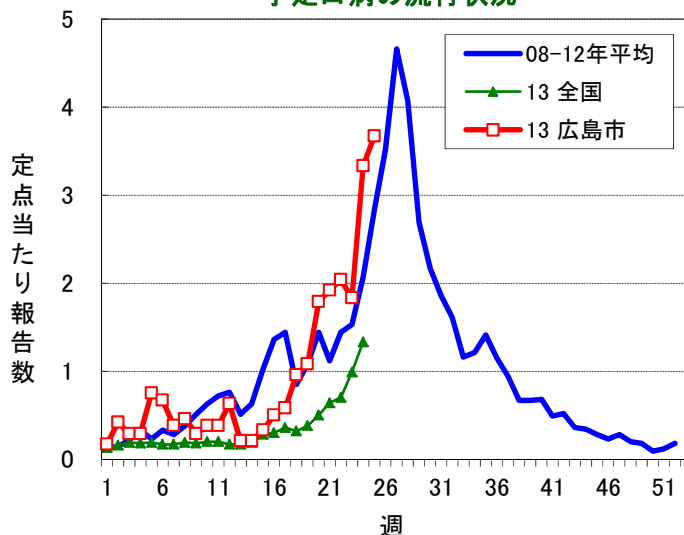
3. A型肝炎

3件の報告があり、今年の累計は8件となりました。
(次頁参照)

4. 風しん

2件の報告があり、今年の累計は25件となりました。

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.04		ヘルパンギーナ	10	0.42	1.43	
咽頭結膜熱	50	2.08	0.54		流行性耳下腺炎	9	0.38	0.78	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	1.79	1.35		RSウイルス感染症	4	0.17	0.05	
感染性胃腸炎	114	4.75	4.94		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05	
水痘	22	0.92	1.45		流行性角結膜炎	11	1.38	1.40	
手足口病	88	3.67	2.83		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.66		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.06	
突発性発しん	12	0.50	0.58		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31	
百日咳	-	-	0.19		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	82	女性(10歳未満)・1人、男性(40歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
4	A型肝炎	3	8	男性(10歳未満)・3人
5	後天性免疫不全症候群	2	16	男性(40歳代)・感染者・推定感染地域: 国外、男性(60歳代)・エイズ
5	風しん	2	25	男性(30歳代)・2人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第21週	13	15	39	219	29	46	-	17	-	3	5	7	-	8	-	-	-	-
		第22週	13	27	44	185	29	49	1	13	-	5	7	4	-	17	-	1	1	-
		第23週	1	44	36	157	29	44	-	14	-	10	7	4	-	17	-	1	-	-
		第24週	-	57	37	152	32	80	1	9	-	12	13	2	-	19	-	1	1	-
		第25週	-	50	43	114	22	88	-	12	-	10	9	4	1	11	-	1	-	-
定点当 たり	広島市	第21週	0.35	0.63	1.63	9.13	1.21	1.92	-	0.71	-	0.13	0.21	0.29	-	1.00	-	-	-	-
		第22週	0.35	1.13	1.83	7.71	1.21	2.04	0.04	0.54	-	0.21	0.29	0.17	-	2.13	-	0.14	0.14	-
		第23週	0.03	1.83	1.50	6.54	1.21	1.83	-	0.58	-	0.42	0.29	0.17	-	2.13	-	0.14	-	-
		第24週	-	2.38	1.54	6.33	1.33	3.33	0.04	0.38	-	0.50	0.54	0.08	-	2.38	-	0.14	0.14	-
		第25週	-	2.08	1.79	4.75	0.92	3.67	-	0.50	-	0.42	0.38	0.17	0.13	1.38	-	0.14	-	-
	全国	第23週	0.43	0.70	2.15	5.99	1.30	0.99	0.08	0.65	0.01	0.30	0.30	0.12	0.03	0.69	0.01	0.04	0.54	0.03
		第24週	0.26	0.71	2.16	5.47	1.35	1.33	0.10	0.66	0.01	0.41	0.28	0.10	0.03	0.61	0.01	0.04	0.57	0.02

■新たに判明した病原体検出状況

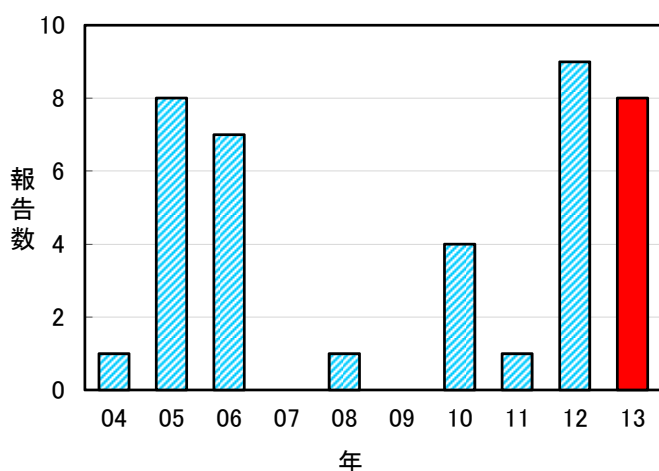
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.5) 胃腸炎	0	男	2013/05/13	糞便 咽頭拭い液 糞便	ノロウイルスG2群 アデノウイルス1型
無菌性髄膜炎	髄膜炎	4	男	2013/05/15	髄液	エコーウイルス6型
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛 腸重積	1	男	2013/05/12	咽頭拭い液	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるA型肝炎の年間報告数の推移

(2013年6月23日現在)



A型肝炎の報告数が今年に入ってから8件となっており、例年より報告が多くなっています。

A型肝炎はA型肝炎ウイルスによる疾患で、2～7週間の潜伏期間の後、発熱、全身倦怠感、黄疸などの症状を急激に起こします。

ウイルスは便に排出され、この便に汚染された水や食物を食べることにより感染します。

A型肝炎を予防するために、生水や加熱しない食物の摂取を避け、手洗いを励行しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第25週(6月17日～6月23日)